

東日本大震災支援ネットワーク「ENプロジェクト」のお誘い

震災以降、情報を入力するだけで何も出来ていない自分達にもどかしさを感じ、この度の震災に対し、作家（ものづくりに携わる人々）とそれに関わる人々が出来ることはないものかと考えました。

作り手として、あるいはその発信源として、それぞれの個性の強さ、フットワークの良さを生かし協力することで、多発的なネットワーク型の震災復興支援プロジェクトを提案いたします。

賛同頂けるそれぞれの会場・作家が集まり、プロジェクトとして広く世に打ち出します。そこから一人では出来ない強い力を生み出し、影響力・注目度を高めることで、少しでも効果的に支援金を集めようと思えます。

タイトルのENは「支援」「救援」「援助」「声援」「応援」の援、広がる輪のイメージの「円」、賛同者がつながり巡り会う「ご縁」縁の音をとったものです。

なお、本企画は、この有事の中、じっくり考える時間も無く始めてしまったことなので、不完全な部分も多いかと思えます。

賛同して頂けるみなさまからの意見、アイデアも同時に集めながら、短期間の思いつきの物ではなく長い期間継続的に成長してゆけるプロジェクトにしたいと思っております。

●プロジェクトの目的及び内容

作家（ものづくりに携わる人々）とそれに関わる人々による震災復興支援の為の支援金集めを目的とする。

よって、このプロジェクトのもとで開催された展示、販売によって得た利益の一部を震災の支援金として寄付する物とする。

賛同ギャラリー及び作家がそれぞれ広く呼びかけを行い、輪を大きくしてゆくネットワーク連結型のプロジェクトを目的とする。

●プロセス（流れ）

1次メンバー群の形成 (a/b) → プロジェクトホームページ立ち上げ (a/b) → メンバー拡大 (a/b) → 企画開催の手助け (c) → アーティストマルシェ(仮)開催 (c/d/e) → 企画開催の手助け (c) → 支援金の寄付

- a. 参加メンバーが独自に開催する情報を集約し、掲載する。
- b. 参加メンバーたちによる口コミの促進(インビテーションシステムの構築)
- c. 要望があれば、会場の紹介(対作家)、作家紹介(対会場)
- d. 会場と作家を結びつけ、アーティストマルシェ(仮)を開催する。
- e. 会場、作家が独自に結びつき、企画展が生まれやすい環境を作る。

●参加の形

1. 時期について

- ・ 4月～7月の間で参加可能（会場提供可能）な期間での参加でかまいません。
- ・ メインイベントとしてアーティストマルシェ（仮）を○月○日～○月○日の間で行います。（詳細は後日）※この時期の会場提供がプロジェクト参加の必須事項ではありません。

2. 出品者の選出について

- ・ それぞれの会場における展示したいアーティストでの参加も可能。
- ・ 普段はギャラリーのようなことはやっていないという会場については、他会場、企画者からの作家推薦もいたします。
- ・ 調整可能な場合、期間中の既に決定しているイベントや展覧会をプロジェクトに当てはめての参加も可能です。
- ・ 紹介したい作家や会場がございましたら、企画者にお知らせ下さい。

※ 会場は無償提供とし、売上を配分するものとする。全ての会場において同じ条件で行うものとする。（寄付=売上の10%、寄付を除いた売上を各会場の規定に準じ作家、会場で配分）

- ・ プロジェクト参加会場が増えて来た場合、会場の企画内容やテイストによって、作家の紹介なども検討しております。

4. 調整可能な開催予定の展示があればそれをあてこんでの参加も可能です。

※ただし、寄付金は売上に限る。会場での募金活動は認めないこととする(理由は後に記載)

●寄付金について

a. 企画・展示によって得た売上の一部を寄付する方式とする。

第1期において売上に対する寄付比率は10%を下限とする。

寄付分を除いた作家と会場との配分比率は各会場に準ずる

b. 寄付金は、1期終了後に、それぞれの会場から、プロジェクト名にて寄付を行う。

1期は社会復旧に資金が必要な時期と思われるため、この時期の寄付は日本赤十字（状況を見ながら判断）を検討中。入金後に振込明細のコピーを提出、ホームページ上で集計いたします。

→以後、その時々々の社会状況を踏まえ、どこに寄付をするのがよいか判断。

c. 各会場で個別の募金活動を行うことは認めない。

あくまでも売上金の一部を寄付する形をとるようにする。（悪用者が出るのを防ぐため）

●詳細

- 1)プロジェクト及びプロジェクトHPの立ち上げ。
- 2)企画者が面識のあるギャラリー、ショップ、作家へ連絡 賛同者を募る。
- 3)参加メンバーたちの情報掲載(会場/作家に区分)
 - ・登録メンバーの展示情報を収集し、掲載する。
 - ※会場や個人情報登録は、当初は簡易な形とし、展示情報がメインになるサイトとする。
- 4)参加メンバーによる情報拡散
 - ・参加メンバーには、知り合いのギャラリー、ショップ、作家に対し、このプロジェクトへのインビテーションを行ってもらおう。
- 5)各賛同会場のスケジュールに合わせたの展覧会、イベントの開催
 - 会場は無償提供とし、売上を配分するものとする。全ての会場においてこの条件で行うものとする。(寄付=売上の10%を下限とし、寄付を除いた売上を各会場の規定に準じて作家、会場で配分)
- 6)アーティストマルシェ(仮)の開催
 - ・提供可能な会場には、その情報を送ってもらいアーティストマルシェ(仮)の参加者を募集する。
 - 会場特性に応じて、開催ルールについては臨機応変に対応する。
 - 会場は無償提供とし、売上を配分するものとする。全ての会場において同じ条件で行うものとする。(寄付=売上の10%を下限とし、寄付を除いた売上を各会場の規定に準じて作家、会場で配分)
- 7)企画展が立ち上がりやすい環境の提供
 - 企画展の参加者募集(会場側)、企画の引き受け会場募集(作家側)など、会場と作家が自由に情報交換でき、新たな展示が立ち上がりやすい環境を提供する。
- 8)メディア対応
 - 第1期は、基本的にメディアへのアプローチは行わず、クチコミに頼るものとする。
- 9)パーティーの開催。
 - プロジェクトへの理解、作家同士・会場同士・作家と会場との交流などを目的にする。多少の参加費あり。但しここで得た利益は全額寄付をするものとする。
- 10) プロジェクト運営
 - 第1期の運営についてプロジェクトの企画運営委員会が、このプロジェクトの管理、運営を行うものとする。

●企画運営委員会

pool 180-0004 武蔵野市吉祥寺3-12-9潤マンション105
0422-20-5180
<http://pool.jp>
info@pool.jp 松本洋子 申光烈

Studio Stick 195-0061 町田市鶴川3-15-26
042-736-1185
<http://www.studio-stick.jp/>
mail@studio-stick.jp 小笠原森 森重裕子